

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名)

職官

陸軍少尉 本部附

終戦時ノモノヲ
記ス

全右所在地

氏名

[Redacted Name]

職ノ變更及主ナル
參加戰闘名ヲ
記ス

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

昭和二十年八月一日任陸軍少尉
昭和二十一年八月一日山砲兵第十八聯隊大隊本部
編成
昭和二十一年六月廿七日
山砲聯隊(九九式十糎山砲一大隊)

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

所屬部隊作戦經
過ノ概要

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力
ノ戰闘終了)
後ノ概況

先

專ら自決作業に従事
帰還途ニ米船「カニル」号ニ乗リ浦城島到着
途中神繩島ニ於テ三月下旬の暴風
ニ遇ス

其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

21

21

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名稱)

小畑兵衛三郎所屬

職官

陸軍中尉 中隊附

全右所在地

宮古島

氏名

小畑

終戦時ノモノヲ
記ス

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

昭和十八年十一月一日 陸軍少尉
十九年六月三日 陸軍中尉
十九年七月二日 編成下令
二十年八月二十日 陸軍中尉
二十年八月二十日 陸軍中尉

職ノ變更及主ナ
ル參加戰闘名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

編成年月日 昭和十九年六月二十七日
小畑聯隊(九九式十挺山砲二大隊)
三六大隊

所屬部隊作戦經
過ノ概要

一 哈爾濱附近警備
二 齊齊哈爾附近警備
三 昭和十九年八月二十日 神尾隆宮宮島上陸
回島防衛ノ作戦ニ參加

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力
ノ戰闘終了)
後ノ概況

專ら自治作戦ニ従事
帰還ハ米船ケ一カニ乗リテ
着途 途中 神尾東島ニ於テ
三月六日 神尾東島ニ於テ
三月六日 神尾東島ニ於テ

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

先
歸郷(又ハ連絡)



其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬(固有名)	職官	終戦時ノモノヲ	摘要
山根兵三十八聯隊	聯隊附(暗号係)	[Redacted]	終戦時ノモノヲ
全右所在地	氏名	陸軍中尉	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和十七年五月十日任陸軍少尉補花部三十八聯隊附 昭和廿年六月台湾軍臨時軍法會議法務官代理		職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	編成年月日 昭和十九年三月二十七日 花部隊 三ヶ大隊 九九式十挺 一ヶ大隊 九四式少銃 二ヶ大隊		職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ
所屬部隊作戦經過ノ概要	一、八咫ノ所止舞踏 二、ケル所止舞踏 三、沖繩本島宮古島ヲ防衛戦斗ニ從事 四、一島ヲ襲撃スルカ		最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	率ヲ自治業務ニ従事 先鋒ケルハルル等ニテ神官歸還途中 沖繩本島ヲ於テ收容所起奉三月		歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス
歸郷(又ハ連絡)先	[Redacted]		歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス
其ノ他ノ參考事項	[Redacted]		歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名)

職官
聯隊副官

終戦時ノモノヲ
記ス

全右所在地

宮古島

氏名

陸軍大尉

終戦時ノモノヲ
記ス

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

中隊長トシテ滿洲國ハルビン並ニ千ハル附近
警備
昭和十九年七月一日千ハル出發同年八月五日
宮古島進駐ニ後同地警備
昭和二十年三月二十八日聯隊副官

職ノ變更及主ナ
ル參加戰團名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

山砲三八聯隊先遣部トシテ千ハル中隊長ト
下命セラレ昭和十九年七月一日臨時編成定結
徒歩編成ニヨリ千ハル出發

所屬部隊作戰經
過ノ概要

滿洲警備中昭和十九年七月五日
宮古島進駐對空戰鬥ニ參加

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ尙ツノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力
ノ戰團終了)
後ノ概況

終戦後依然宮古島ニ在リ自治作業ニ
専念 昭和二十年五月三日捕獲將校
トシテ沖繩本島ニ於テ捕虜トシテ收容
ヤリ同年三月三日沖繩出發同日七月
復員ノトシテ浦賀ニ到着

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)
先



其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

所屬(固有名)	職官	氏名	摘要
山砲兵六二八聯隊	六二八聯隊 中隊長	[Redacted]	終戦時ノモノヲ記ス
沖繩県宮古島	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和十六年八月十日 山砲兵六二八聯隊ニ入營 十七年三月十日 任陸軍少尉 山砲兵六二八聯隊 自一九一九年八月十日 沖繩県宮古島防衛戦ニ參加 至二〇〇年八月十五日 再行島防衛戦ニ參加 十九年九月十五日 任陸軍中尉 山砲兵六二八聯隊	[Redacted]	[Redacted]
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	山砲兵六二八聯隊(昭和十九年七月二日編成) 任歩編成 九四山砲 二ヶ大隊 九九山砲 一ヶ大隊	[Redacted]	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス
所屬部隊作戦經過ノ概要	昭和十九年七月二日 龍江省奇々哈爾編成免給 一九一九年七月二日 釜山出帆 八月十五日 内日、鹿見島、那西勒、宮古島 一九一九年八月十五日 宮古島防衛戦ニ參加 二十年八月十五日 五一号作戦ニ參加	[Redacted]	[Redacted]
終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	復員業務ニ従フ 主トシテ日活作業ニ専念 昭和二十年十一月二十日 沖繩收容所 二十一年三月二十三日 片船ニ乗リ浦賀港 二十一年三月二十三日 三ノ師團	[Redacted]	歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス
先 歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ参考事項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名)

山砲兵第二十八聯隊

職官
大隊通信係

終戦時ノモノヲ
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名
陸軍中尉

[Redacted Name]

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

昭和十七年十二月日
昭和十九年七月三日

任陸軍少尉補野砲兵第二十七聯隊付
山砲兵第二十八聯隊 轉屬大隊通信係

職ノ變更及主ナ
ル參加戰闘名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

編成年月日 昭和十九年六月二十七日
山砲隊 (三ヶ大隊)

野砲兵第二十七聯隊
昭和十九年七月渡捕

九九式十挺少隊 一ヶ大隊
九四式少隊 二ヶ大隊

三ヶ大隊
改連三八野砲三門
九式十挺榴砲九内
甚ノ他諸打砲機等

所屬部隊作戰經
過ノ概要

- 一 里向首山神社附近ノ警備 (野砲兵第二十七聯隊)
- 二 里向首山神社附近ノ警備 (野砲兵第二十七聯隊)
- 三 昭和十九年八月十日 沖繩縣宮古島上陸
同島防衛ニ従ヒ 五ヶ大隊ヲ戰闘スル

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力
ノ戰闘終了)
後ノ概況

専ラ自治作業ニ従事
帰還ハ米船ヤマト号ニ乗リ 昭和二十年十月十九日 沖繩ニ
至リ 沖繩本島ヲ三月内 収容所ニ送居 翌年
三月廿七日ゲート号ニ乗リ 補償着

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)
先

[Redacted]

其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名称)	全右所在地	職官 氏名	終戦時ノモノヲ 記ス
山砲兵第二十八聯隊	沖繩縣宮古島	聯隊附(大隊指揮班長) [Redacted]	終戦時ノモノヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和十六年十月一日 任陸軍少尉(伊付砲兵第二十八聯隊) 任陸軍中尉 昭和十八年三月一日 任陸軍中尉 昭和十八年五月十五日 補山砲兵第二十八聯隊中隊長 昭和十九年十二月一日 任陸軍大尉 昭和二十年四月十五日以降 宮古島飛行場防衛戦闘ニ參加 昭和二十年七月十二日 今大隊指揮班長	職ノ變更及主ナ ル參加戦闘名ヲ 記ス	職ノ變更及主ナ ル參加戦闘名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年六月二十七日 勅令下 七月二日 月完結 (九島小隊三六、四十三、四十二)	結核、昭和十五年度揚子江中流砲兵隊員ニ一割減員、 大部ヲ欠ク、若干ノ增加裝備(小銃、土銃、增加)及不足裝備アリ	最後ノ所屬部隊 又主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ併記ス
所屬部隊作戦經 過ノ概要	昭和十九年七月 滿洲国龍江省普寧、哈爾濱近郊ヲ襲撃 昭和十九年八月十二日 宮古島ニ進駐 昭和二十年四月以降 天一号作戦ニ參加、飛行場防衛戦闘 ニ從事	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況	專ラ自活業務ニ從事	[Redacted]	[Redacted]
歸郷(又ハ連絡) 先	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ參考事 項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	[Redacted]	[Redacted]

史實調査參考資料報告

摘要	終戦時ノモノヲ記ス	職ノ變更及主ナル參加戰闘名ヲ記ス	職官 指揮小隊長 陸軍少尉 氏名	所屬部隊 (固有名稱) 龍文奉天野隊 沖繩縣 宮古島	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	所屬部隊作戰經過ノ概要	終戦(又ハ主力ノ戰闘終了)後ノ概況	歸郷(又ハ連絡)先	其ノ他ノ參考事項	備考	
			[Redacted]	[Redacted]	昭和三十七年一月、支那事變以降、進駐龍文補給隊に入隊。昭和三十七年三月、任陸軍少尉、龍文奉天野隊に付随。昭和三十七年七月、龍文奉天野隊に昇進。昭和三十七年八月、龍文奉天野隊に昇進。昭和三十七年九月、龍文奉天野隊に昇進。昭和三十七年十月、龍文奉天野隊に昇進。昭和三十七年十一月、龍文奉天野隊に昇進。昭和三十七年十二月、龍文奉天野隊に昇進。昭和三十七年十二月、龍文奉天野隊に昇進。	昭和三十七年八月十五日 龍文野隊(九九式十挺小銃一大隊)	昭和三十七年六月三日 龍文野隊 昭和三十七年七月六日 龍文野隊 昭和三十七年八月十五日 龍文野隊	昭和三十七年四月(昭和三十七年七月)マデ、龍文野隊に在籍。昭和三十七年七月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年八月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年九月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年十月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年十一月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年十二月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年十二月、龍文野隊に昇進。	[Redacted]	[Redacted]	昭和三十七年三月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年四月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年五月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年六月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年七月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年八月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年九月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年十月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年十一月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年十二月、龍文野隊に昇進。昭和三十七年十二月、龍文野隊に昇進。	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ツノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名稱)	全右所在地	支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	所屬部隊作戦經 過ノ概要	終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況	歸郷(又ハ連絡) 先	其ノ他ノ參考事 項	備考
山砲兵第三八聯隊 沖繩縣宮古島	職官 陸軍少尉	昭和二十一年三月 支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴 昭和二十一年三月 支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴 昭和二十一年三月 支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和十五年八月十五日 山砲聯隊 (九九式十村砲二門六挺)	昭和十九年 昭和十九年六月二十七日 昭和十九年八月十五日 昭和二十年三月	八月五日終戦 自若島(自) 十一月二十四日 十二月三日 十二月七日	[Redacted]	[Redacted]	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
終戦時ノモノヲ 記ス	職ノ變更及主ナル 參加戦闘名ヲ 記ス	[Redacted]	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス	[Redacted]	歸還輸送ノ状況 ヲモ併記ス	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名称)

山砲兵第三十八聯隊

職官

出動官史
陸軍少尉

終戦時ノモノヲ
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted]

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

昭和十六年八月 四洲陸軍演習ノ師団指揮部附
昭和十九年六月 海軍省宮古島砲兵第三十八聯隊
職ノ變更及主ナル參加戦團名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

昭和十五年八月十五
山砲聯隊

所屬部隊作戦經
過ノ概要

昭和十九年六月二十七日 勅令下付
八月三日 発令
昭和二十年 八月十五 山砲聯隊
同地方砲兵備
昭和二十年三月 第一作戦部
最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力
ノ戦闘終了)
後ノ概況

昭和二十年八月十五 終戦後 自派並事務整理ノ為メ
昭和二十年十月 宮古島支隊 本島ノ戦況
昭和二十年三月 沖繩砲兵聯隊 収容
昭和二十年三月 浦安砲兵聯隊 浦安
歸還輸送ノ状況
ヲモ併記ス

先
歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ参考事
項

佛師先ハ戦後地ヲ北況ナリ

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス